

# 岩盤に効率的に穴開ける工法

## ダム撤去に採用

タデ  
ジ熊  
本

準大手ゼネコン（総合建設会社）のフジタは、

岩盤に効率よく穴を開ける工法をコンクリートに初めて採用したと発表し

た。国内初となる熊本県のダムの撤去工事でコンクリート製の土台に水を流すトンネルを掘る作業で活用した。小さな穴をつながるように掘り、穴の間の隙間を無くし、崩しながら掘り進むのが特徴。

それぞれ掘り進むため、岩盤部分の穴によってばらつきがある。専用の重機が必要なことも負担となる。FONDリル工法では一般の掘削機でも使用できる。今後とも全国で展開を目指す。

穴との間に隙間が生じるため崩しにくくなる。

トンネル工事などで使われる「FONDリル工法」を、荒瀬ダム（熊本県八代市）の撤去工事で採用した。築約60年のコンクリート製ダムを撤去

しやすくするため、普段は水面下にある水門の底辺を掘って水を流すトンネルを作った。水がたまらなくなるため、ダムの上部から徐々に撤去することができるとしている。工事の受注額は他社と共同で約14億円。

微。

従来の工法は複数のドリルを同時に使うため、

柔らかい部分は掘れるが硬い部分は掘り進めないことがあった。また穴と

同工法では掘削機のドリルに棒状の支えを取り

付ける。通常の工法では複数のドリルを回転させ

展開を目指す。

同工法では掘削機のドリルに棒状の支えを取り

付ける。通常の工法では複数のドリルを回転させ

展開を目指す。

同工法では掘削機のドリルに棒状の支えを取り